

(区民から)

お知らせ・お願い

☆中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）発足

昨年末から設立準備を進めてまいりましたNSCの設立発足式を、先月25日（土）に執り行うことができました。式は関係する町及び町社協の方々等を来賓にお迎えし、役員を務めていただく区民のほとんどの方のご出席をいただき挙行することができました。

セーフコミュニティの組織立ち上げの願いは、前号でもお知らせしましたように、「住民の協働の力で、安全・安心に暮らすことができるまち（区）づくり」をいっそう進めていくことにあります。発足したNSCの組織図につきましては、区総会でご紹介申し上げてありますが、下記に再掲させていただきます。

- 役員会（事務局）
- 会長（区長）
- 事務局長（兼副会長）
- 事務局長補佐（会計）
- 事務局員（区会議員）
- 区長代理
- 区会議員（社協担当者）
- 事務局員（対策委員会委員長）
- 災害等緊急時対策委員会委員長
- 交通安全対策委員会委員長
- 暮らしの安全対策委員会委員長



<p>災害等緊急時対策委員会 委員長 副委員長（兼書記）</p> <p>構成団体等 消防委員 自衛消防団（代表3名） 日赤奉仕団分団長 組長（代表2名） 社協（区会推薦） 区会（区長代理・区会議員1名）</p>	<p>交通安全対策委員会 委員長 副委員長（兼書記）</p> <p>構成団体等 交通安全協会分会長 PTA（小・中） 中部小安全見守り隊 青少年健全育成 区会（区会議員4名《含社協担当者》）</p>	<p>暮らしの安全対策委員会 委員長 副委員長（兼書記）</p> <p>構成団体等 民生児童委員 長寿クラブ会長 組長（代表2名） 分館長 自衛消防団（代表2名） 生活・介護支援サポーター 区会（区長・区会議員1名）</p>
--	--	---

式では来賓の方々等の挨拶に続いて、各対策委員会等の今年度の事業計画を確認しました。発表確認された主な点はおおよそ下記のとおりです。

◇事務局（唐澤優事務局長）

- ・NSCを組織する役員が推進力となり、区民の協働の力で、中原が今以上に安全・安心に暮らすことができる地区になっていくことを目指す。
- ・これまで中原区で取り組んできたことを基に、目標に向かって無理のない歩みを重ねていく。
- ・活動の様子や、事業の趣旨を区民の皆さんに広報し、理解と協力を得られるように努めると共に、区民の方々の声を活動に反映できるように努めていきたい。

◇災害等緊急時対策委員会（北原秀子委員長）

- ・防災への備えを、区と連携をとり進めていく。
- ・「災害時住民支えあいマップ」の更新及びその運用のあり方の具体化を図っていく。

※支えあいマップの更新作業は、従来地区社協で行っていましたが、NSC発足にあ

りこの委員会で担当することになりました。

- ・ 防災訓練に区会と共に係わっていく。

◇交通安全対策委員会（向山正芳委員長）

- ・ 区内の危険個所の点検・確認を行い、地図に記載し広報する。（区民の皆さんからも危険個所の情報提供を求めていく）
- ・ 児童生徒、高齢者、障がい者の交通安全の見守りを進めていく。

◇暮らしの安全対策委員会（北原健治委員長）

- ・ 区民による支えあい体制の構築を目指していく。
高齢者、障がい者、独居者等の困りごとの実態把握と支援の具体化
- ・ 救急医療情報キット「命のカプセル運動」の推進をしていく。
- ・ 挨拶運動について考え、実施に向けて取り組んでいく。

また、式では「NSC役員の声」として、向山弘晃さん・山中菜美さんのお二人が、NSC活動に取り組んでいく思いや決意をそれぞれに語ってくださいました。いよいよ始動していくんだな！との思いを強くした瞬間でありました。



さて、NSCの活動を展開していくにあたりましては、区民の皆様のご理解とご協力が不可欠のものであります。事務局長の話（前掲）にもありましたが、NSCでは区民の方々に必要な情報等をできるだけ広報し、理解と協力を求めてまいります。また、各対策委員会よりのお願ひ・依頼も今後具体化されていくこととなりますが、ご協力賜りますようお願いいたします。

より安全・安心に暮らせる区づくりを目指し、今後役員ばかりではなく、区民の協働の力の結集と、その歩みが確かにつくられていくことを願っています。区民の皆様、よろしくお願ひします。

☆ふれ合い・交流活動の活性化を！

前述のNSCの願ひは、「区民の協働の力で、安全・安心に暮らすことができるまち（区）づくり」にありました。その機能が十分に発揮されていくためには、区民の皆さんのつながりが密であることが望まれます。多くの区民の皆さんが知り合い・顔見知りになり、挨拶し合ったり、声をかけ合ったりできるようなつながりがさらに広く生まれて来たら、NSCの事業（例：災害時の対応・見守り・支えあい等）もより有機的・効果的に展開されていくのではないのでしょうか。

ふれ合い・交流の活性化による区民のつながりのさらなる構築は、NSCの事業展開ひいては安全・安心に暮らせず区づくりの大きな基盤となっていくものと考えます。

このさらなるふれ合い・交流の活性化への取り組みを、区の初総会でも発表しましたように、今年度中原区社会福祉協議会が、他の組織・団体等の方々の協力を得て担っていきます。ご理解・ご協力をお願いします。

なお、これら事業にかかる経費は、今年度申請し、町より交付されることとなった「地域総合活性化事業交付金」を活用して参ります。

【今年度、地区社協で考えている新たな「ふれ合い・交流」～皆さんの協力を得て～】

◇幅広い役員と長寿者との慰安会での交流の試み

- ・ NSC活動を通じて長寿者の皆さんと係わる役員の慰安会への出席（従来の社協理事に加えて）NSC事務局長及び補佐、対策委員会正副委員長、暮らしの安全対策委員会委員、全組長出席
- ・ 役員と長寿者の皆さんの席を混在化する。

◇納涼祭での交流の試み…分館役員の皆さんの理解と協力を得て具体化を図る。

- ・ 準区民の皆さんとの交流…各戸へ招待状と500円分の飲食物引換券を届け、参加を呼び掛けます。※正区民の各戸へは千円分の引換券を配付します。多数のご参加をお願いします。
- ・ 子どもと経験者との万灯を通しての交流…万灯の作り方や振り方を経験者が伝授する。

◇各組の新年会の工夫の試み…組長と社協役員（当該組の役員）で具体化を図る。

- ・ 活性化交付金を受け、新年会交流のいっそうの充実化を図る。

◇秋の人足作業を他の組の人と共に行う試み…区会土木委員会と連携して具体化を図る。

◇長寿者ふれ合いサロン構築への試み…生活・介護支援サポーターの方との連携も考えていく。

今年度は、以上のような試みを考えてみました。区民の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひします。



NSC だより

☆中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）、発足から3か月！

去る6月25日に発足したNSC。それぞれの部署で、より「区民が安全・安心に暮らせる地域づくり」を願って活動を始め、3か月余が過ぎました。

その歩みは、事務局で協議会の骨格基盤を練り、全体推進の計画や方向性を論議し、意思疎通を図りながら、各対策委員会で具体的な活動に主体的に取り組んできました。

以下、各対策委員会の取組みについてお知らせします。

災害等緊急時対策委員会

○防災への備え

平成26年度に設置された防災倉庫。そこに、それ以前より順次これまでに整備されてきた防災備品の確認を委員会で行いました。（具体的な備品については「中原区防災関係備品」一覧として、防災訓練の折に参加者に配付）耐用年数の確認（入替の手配）、必要な物については使い方も確認し、万が一の時に備えました。

※防災倉庫の鍵は、区長・区長代理及び公民館鍵置場で保管しています。

○災害時住民支えあいマップの更新

例年、地区社協で行ってきた支えあいマップの更新事業を、今年度からこの委員会が取り組みました。区民の皆様には、「災害時住民支えあい基本台帳」の作成にあたっては、ご協力ありがとうございました。基本台帳を基に、各組長さん・関係する区会議員さんと共に、マップ更新作業を行いました。要援護者の支援にあたる支援者の方々個々に、「中原区災害時住民支えあい活動確認表」を届けさせていただきました。万が一の緊急時の対応をよろしくをお願いします。

○防災訓練で

去る9月4日（日）の防災訓練では、要援護者の支援の一つの姿を、着脱式車いすの緊急避難装置「JINRIKI」（じんりき）を活用して実演して示しました。

また、上記防災倉庫収納の他の備品の一部についても、実物を通して具体的な紹介も行いました。



交通安全対策委員会

○危険個所の点検と処置

区民の皆さんの協力を得て、「一時停止しない」「過去に事故が発生した」「カーブミラーが必要」等の調査をさせていただきました。ご指摘いただきました箇所個々を委員が現地踏査し地図に表記しました。この地図は、公民館の一角に掲示する予定です。ご覧いただきたいと思ひます。

一時停止標識・カーブミラー設置等の件は、区を通じて町へ要望として提出して

もらうことにしました。

○安全グッズの整備



回覧板により「反射タスキ」「飛出し注意標識『飛出し君』」の注文(無償配布)を取り、必要数を取りまとめ発注いたしました。品物が届き次第(10月中旬以降)、該当の方々にお届けします。ご活用ください。

暮らしの安全対策委員会

○困りごとアンケート

高齢化が年々進んでいく状況の中、地域で支えあい助け合っていく体制を作っていくために区民の皆さんの中にある困りごとを把握したいと考え、「困りごとアンケート(中原区住民アンケート)」にご協力いただきました。お寄せいただいたアンケートは、現在集計中です。今後、アンケートに基づき、どんな支援どんなシステムづくり等を行っていく必要があるのか等を審議し、具体策を講じて行こうと考えています。

○救急医療情報キット(命のカプセル)を 備えましょう

救急医療情報(持病・服用薬・かかりつけ医等記入)を容器に入れ決められた場所(冷蔵庫)に保管しておき、病気やけがで倒れた場合、救急隊員や発見者がその情報から迅速・的確な救護対応に役立てていくものです。この命のカプセルの注文希望は、既に取りらせていただきました。間に合い次第、希望された方に無償配布させていただきます。

また、できるだけ多くの方に常設してほしいと願っています。



☆ 事務局に、声をお寄せください

「中原区民が協働によるセーフコミュニティ活動に取り組むことを通して、区民が安全・安心に暮らせる地域を推進するために設置する」(『中原セーフコミュニティ推進協議会規約』より)ことを目的として生まれたNSCです。区民の皆さんのご理解、ご協力を得て歩んで行くNSCです。NSCに対する質問や意見、希望等がありましたら、下記の事務局メンバーにお寄せください。

《事務局》

会長(区長):唐沢 好三 事務局長(副会長):唐澤 優
事務局長補佐(会計):有賀 学
事務局員(区会議員):向山 和好(区長代理) 向山 弘晃(社協担当)
事務局員(対策委員長)災害等緊急時対策委員長:北原 秀子
交通安全対策委員長: 向山 正芳
暮らしの安全対策委員長:北原 健治

☆ 区からのお知らせ 10月(25日)は区費の集金を行いません

年度当初にお知らせしてありますように、今年度の区費納入日は4, 6, 8, 12月になっています。10月は、区費の集金は致しません。次の区費納入日は、12月25日(日)です。よろしくお願ひします。

副	課長	課長	係長	課	員	担当者
			小田切	SC事務局長		
課長	課長	課長				
決	事	項				

平成28年10月

中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）活動記録 ～発足から3ヶ月（9月まで）～

1 発足式

- (1) 日時 平成28年6月25日（土） 午後7時～
(2) 場所 中原公民館
(3) 式次第

※進行：区長代理

- ① 開式のことば（事務局長補佐）
- ② 会長挨拶
- ③ 来賓挨拶（町総務課長：戸田勝利様、町社協事務局長：遠藤務様）
- ④ NSCの取組みの方向と推進の決意（事務局長）
- ⑤ 対策委員会事業計画発表（各委員長）
- ⑥ NSC役員の声（向山弘晃さん、山中菜美さん）
- ⑦ 閉式のことば（事務局長補佐）

※発足式の様子は区民へのお知らせ・お願い（区民便り《別紙》）で紹介

2 各対策委員会等の取り組み

(1) 災害等緊急時対策委員会

- ① 「災害時住民支えあい基本台帳」及び「災害時支えあいマップ」更新への取り組み
 - i 「災害時住民支えあい基本台帳」更新調査用紙配付と回収
 - ii 「災害時支えあいマップ」更新作業
 - iii 「中原区 災害時住民支えあい活動確認表」（別紙に見本あり）を作成し、該当者に配付
- ② 防災備蓄品の確認点検
 - i 防災倉庫保管備蓄品のリストづくりと点検
 - ii 防災機材の使い方確認
 - iii 耐用年数切れの備蓄品チェックと入替手配
- ③ 防災訓練での対応
 - i 要援護者の救出支援訓練
 - ii 防災用備蓄品とその使い方を区民に紹介

(2) 交通安全対策委員会

- ① 危険個所の把握と点検
 - i 区民へのアンケート調査（別紙）
 - ii 危険個所の实地踏査確認
 - iii 危険個所の地図への標記（10月に、公民館に写真と共に掲示啓発）
- ② 安全グッズの斡旋（別紙）
 - i 反射たすき
 - ii 飛び出し注意標識

※どちらも、希望者を募り配付（10月配付予定）

(3) 暮らしの安全対策委員会

- ① 困りごとアンケート（中原区住民アンケート）調査（別紙：アンケート用紙）
- ② 救急医療情報キット（命のカプセル）
 - i 設置希望者の調査
 - ii 試作品の作成

※希望者へ10月配付予定
- ③ ふれあいサロンへの試み
 - i ふれあいサロンについての学習会と中原区の方の決めだし
 - ii 長寿クラブお茶飲み会と暮らしの安全対策委員会の懇談・交流（10/9 実施予定）

(4) 事務局会

- ① 各対策委員会の7, 8月の取り組みの報告
- ② 各対策委員会の課題と今後の活動の見通し
- ③ 区民への広報（NSCだより）の発行について（第1回の発行は10月《別紙》）

中原区会議・作業報告書

会議名・作業名	NSC設立準備会 I	実施日	2016/4/26
場所	中原公民館	作成者	向山 弘晃
参加団体(参加者)	唐沢 好三 北原 秀子 下井 さやか 北原 健治 向山 輝予史 唐沢 優 山中 菜美 向山 正芳 唐沢 士三 白鳥 ゆり子 有賀 学 大森 充 下井 宏明 向山 芳文 向山 美智子 向山 好和 向山 修二 唐沢 繁美 向山 義和 唐沢 一夫 向山 弘晃 北原 純一 唐沢 幸茂 大和 宏 向山 公彦 北原 浩 関 淳司 北原 進		

内容	NSC設立の趣旨及び経緯 平成28年度の事業推進のおよその見通し 事務局3回/年 各委員会5回/年 推進日程報告 NSC推進協議会規約承認 組織図及び構成メンバー承認 各正副委員長選任		
----	---	--	--



開会のあいさつ 事務局長 唐沢 優氏



会議中の様子



準備風景



中原区会議・作業報告書

会議名・作業名	NSC事務局会(拡大) 正副合同会	実施日	2016/5/14
場所	中原公民館	作成者	向山 弘晃
参加団体(参加者)	唐沢 好三 北原 秀子 唐沢 優 向山 正芳 有賀 学 白鳥 ゆり子 向山 好和 山中 菜美 向山 弘晃 下井 さやか 北原 健治		
内容	設立準備会Ⅱの内容について 町総務課担当の話 活動具体化にあたっての留意点 事務局及び各対策委員会事業計画案の作成について 設立発足会の持ち方 設立発足会について		



会議の様子



各対策委員会ごとに分かれ事業計画案検討

中原区会議・作業報告書

会議名・作業名	NSC設立準備会Ⅱ	実施日	2016/5/28
場所	中原公民館	作成者	向山 弘晃
参加団体(参加者)	唐沢 好三 山中 菜美 向山 正芳 向山 芳文 向山 美智子 唐沢 優 唐沢 茂 唐沢 繁美 向山 義和 唐沢 一夫 有賀 学 大森 充 唐沢 幸茂 大和 宏 向山 好和 北原 純一 関 淳司 北原 進 向山 弘晃 北原 浩 北原 健治 向山 輝予史 北原 秀子 下井 さやか 唐沢 士三 白鳥 ゆり子		
内容	町総務課担当職員の方の話 事務局及び各対策委員会事業計画案製作 NSC設立発足式について 町総務課・福祉課・町社協の方の話		



事務局長あいさつ



区長あいさつ



町総務課小田切さんの話



会議の様子



災害等緊急時対策委員会のみなさん



交通安全対策委員会のみなさん



暮らしの安全対策委員会のみなさん

中原区会議・作業報告書



町社協 緑川さんあいさつ



福祉課 鈴木さんあいさつ



町社協 林さんあいさつ



中原未来を考える会会長
征矢さんあいさつ

中原区会議・作業報告書

会議名・作業名	NSC設立発足式	実施日	2016/6/25
場所	中原公民館	作成者	向山 弘晃
参加団体(参加者)	唐沢 好三 北原 秀子 下井 さやか 関 淳司 北原 進 唐沢 優 山中 菜美 向山 礼子 北原 健治 向山 輝予史 有賀 学 大森 充 向山 正芳 唐沢 士三 向山 美智子 向山 好和 向山 修二 下井 宏明 向山 芳文 唐沢 一夫 向山 弘晃 北原 純一 唐沢 繁美 向山 義和 向山 公彦 北原 浩 唐沢 幸茂 大和 宏		
内容	1, 開式の言葉 2, 会長挨拶 3, 来賓挨拶 4, NSCの取り組みの方向と推進の決意 5, 対策委員会事業計画発表 6, NSC役員の声 7, 閉式の言葉		



役員の皆さん



来賓の皆さん



開式の言葉



会長挨拶

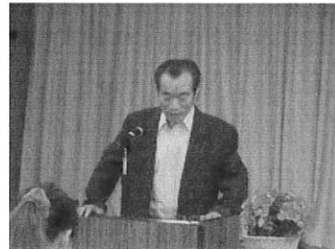


総務課長 戸田様

来賓挨拶



町社協 遠藤様



NSCの取り組みの方向と推進の決意

事務局長

中原区会議・作業報告書

各対策委員会事業計画発表



災害等緊急時対策委員会
北原 秀子さん



交通安全対策委員会
向山 正芳さん



暮らしの安全対策委員会
北原 健治さん



向山 弘晃

NSC役員の声

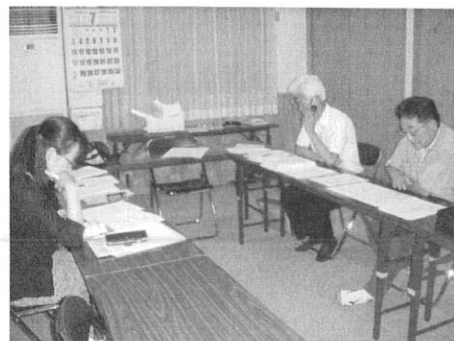


山中 菜美さん

1 取り組み状況

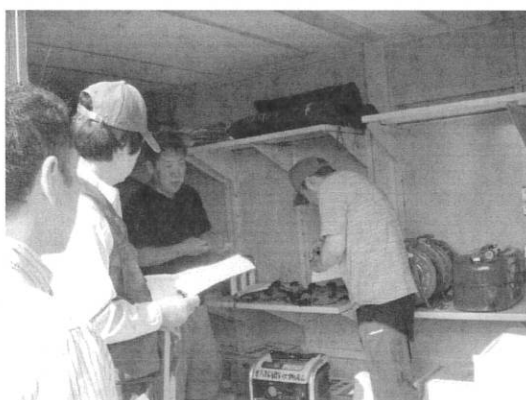
(1)「災害時住民支えあいマップ」作りについての 事前打ち合わせ (7/6)

- ・ 調査内容、基本台帳（記入調査用紙）の書式、配布～回収
マップ作成までのスケジュール等についての検討

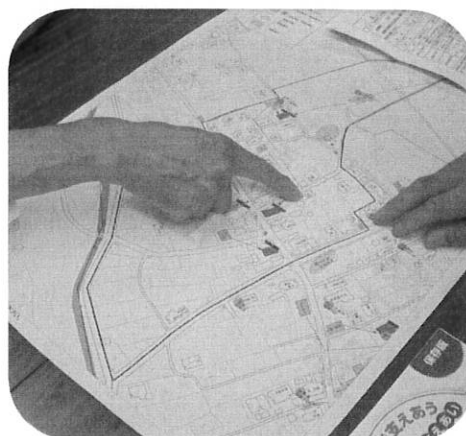


(2) 防災備品の確認 (7/24)

- ・ 防災関係備品リストを基に備品等の確認作業



(3)「災害時住民支えあいマップ」(8/5)



- ・ マップ更新についての説明を聞いた後、各組ごとに
分かれて更新作業
- ・ 防災訓練の活動内容、本年度購入防災備品・消耗品
について検討

(4) 防災訓練事前打ち合わせ (8/19)

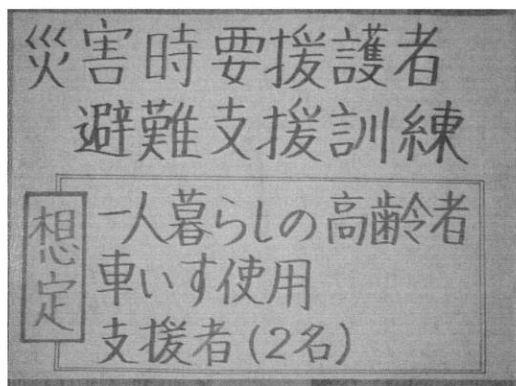
(5) 防災訓練参加 (9/4)

・災害用備蓄品の紹介と確認

ドーム型テント、ポータブルトイレ、ソーラー付手巻きラジオライト、車いすの紹介



・要援護者の避難支援訓練



2 課題

- ・区会や地区社協との連携の大切さを感じつつ、連絡や調整がなかなかスムーズに取れていない。活動の見通しが十分に把握できていない状況で、委員会としてどこまでやればいいのか、また、やらなくてはいけないのか。

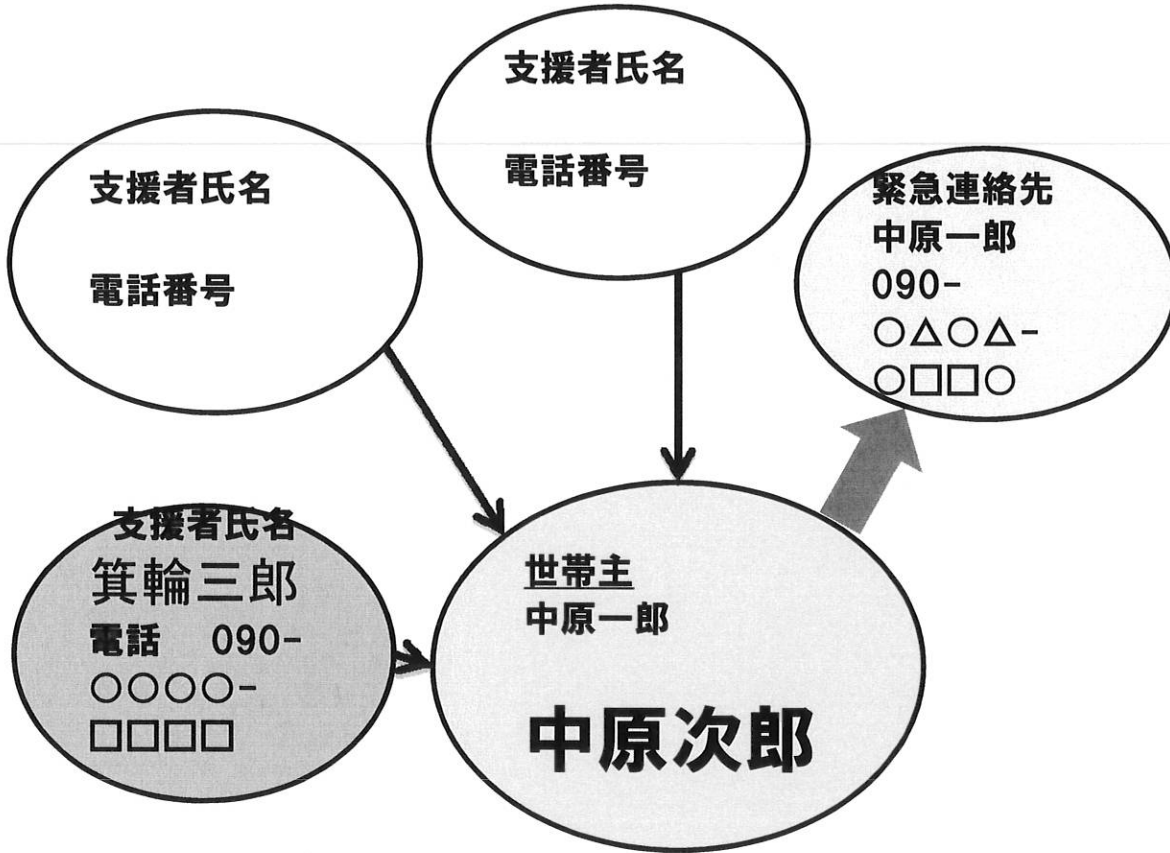
3 必要経費

- ・「支え合いマップ」更新調査用の封筒 (400円)

要援護者用

中原区 災害時住民支えあい活動 確認表

災害時等に次の皆さんが支援をしてくれます



1組で決めたとりあえずの避難先は

信号機横長寿花園

です

最終的な避難所は

中原公民館

です

避難先までの経路を確認してください

火事・救急
警察署

119番
110番

箕輪町消防署 79-0119
箕輪町交番 79-2028

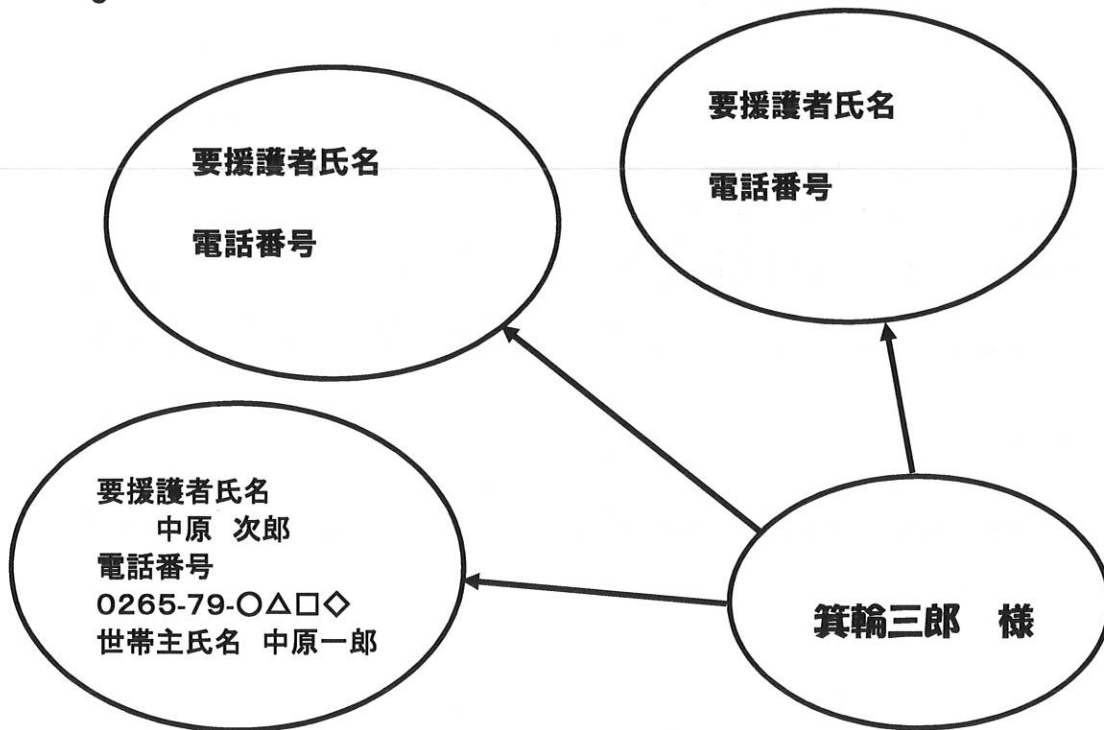
緊急時の連絡先を記入しておきましょう

1	
2	
3	
4	

支援者用

中原区 災害時住民支えあい活動 確認表

災害時等には下記の方々への支援をお願いします



常会で決めたとりあえずの避難先は

です

最終的な避難所は

です

避難先までの経路を確認してください

支援者の役割

災害の発生が予測され、避難勧告や指示が出されたときや、災害が発生した時は、近隣の支援者と協力して要援護者の非難等に当たりますが、ご自身の安全を最優先してください。
直接支援にいかれない場合も、「〇〇に支援の必要な方が居ます」ということを、対策本部等に確実に伝えてください。

火事・救急
警察署

119番
110番

箕輪町消防署 79-0119
箕輪町交番 79-2028

緊急時の連絡先を記入しておきましょう

1	
2	
3	
4	

NSC推進協議会交通安全対策委員会からのお願い

交通安全対策委員会委員長 向山正芳

交通安全対策委員会は今年度の事業計画で、中原区内の道路で交通事故等の発生するおそれがある危険箇所の点検確認を行い区内道路地図に記載する作業を行います。役員が巡回して行いますが、区民の皆さんも過去にあった事故の場所や、ヒヤリとした場所、標識・カーブミラーが必要と思う場所がありましたら、添付してあります地図に記載をお願い致します。これから作成します区内の交通危険地図に記載するとともに、道路標識の申請、設置に使用していきたいと考えておりますのでご協力をお願いします。

記入方法は、無記名で結構です。

例

- | | |
|-------------------|----------------|
| ① 一時停止しない | ⑥ カーブミラーが必要 |
| ② 草木で見通しが悪い | ⑦ 一時停止標識が必要 |
| ③ 雪が凍結して滑りやすい | ⑧ 止まれ・の道路標示が必要 |
| ④ 子供の飛び出しがあった | ⑨ カーブミラーが見えにくい |
| ⑤ 過去に事故が発生したことがある | ⑩ 道路の破損がある |

○上記番号以外に何かありましたら、直接地図に記載して下さい

(記入例) ※記入はできるだけ赤色をお願いします

	⑥
⑩	
	④ (子供の飛び出しがあった)

中原セーフコミュニティー推進協議会交通安全対策委員会よりお知らせ

交通安全対策委員会委員長 向山正芳

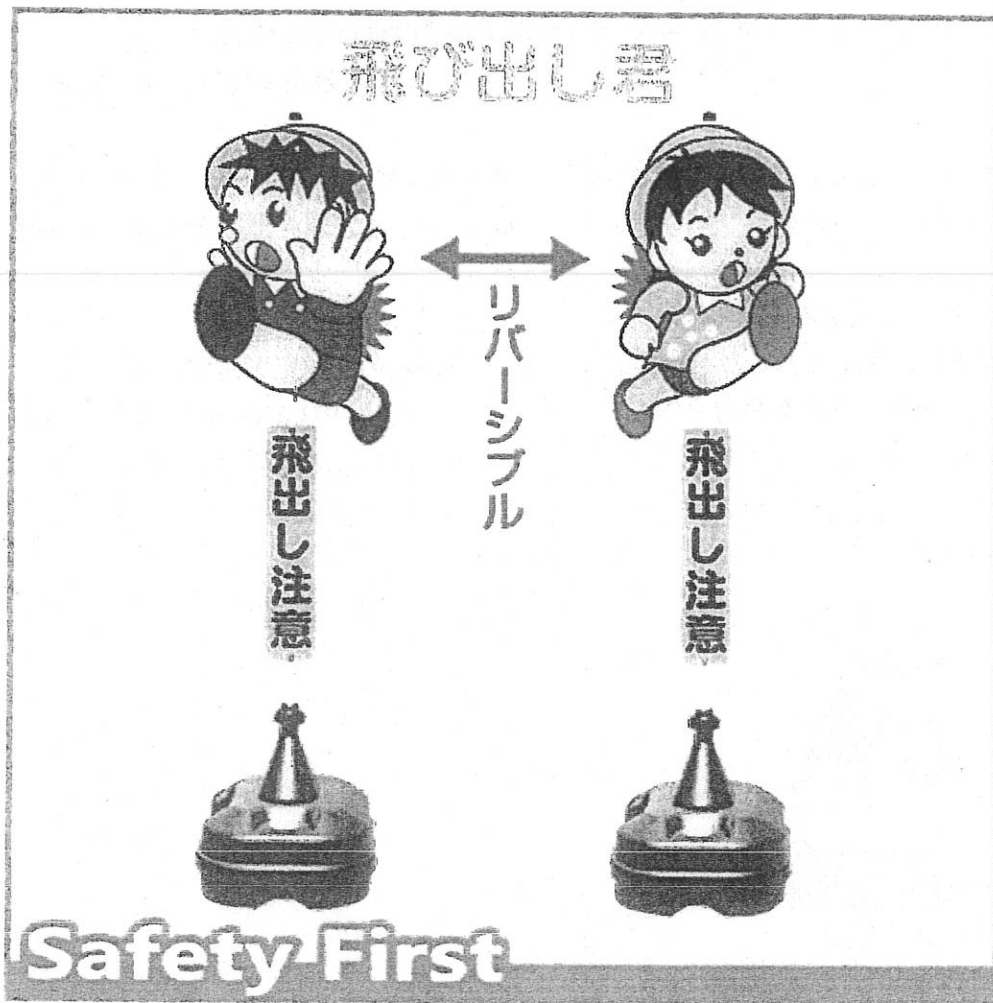
NSC交通安全対策委員会では、この度計画した事業展開のなかで、夜間の外出時に使用して頂く反射タスキと、「子供の飛び出し注意」の標識を希望する家庭に無償で配布する事業を行います。反射タスキは、すでにお持ちの方もいらっしゃると思いますが、夜間のウォーキングやジョギング、夜間の外出時には事故防止に効果が期待できます。また [子供の飛び出し注意の標識] は、おおむね3歳から12歳位までの子供のいる家庭が対象で家の前に立ておくもので、運転手に注意喚起するものです。必要な家庭は、申し込みをしてください。※ 飛び出し注意の標識は、必要がなくなった時点で状態が良ければ、他の家庭で再利用いたします。また希望家庭が多い場合は、予算の関係で本年度購入できる数に制限がありますので、来年度にまわる家庭もありますのでご了承下さい。



反射タスキの注文

(写真は参考画像)

氏名	①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔
㉕	㉖	㉗	㉘	㉙
㉚	㉛	㉜	㉝	㉞



飛び出し注意標識の注文

(写真は参考画像)

氏名	①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
⑮	⑯	⑰	⑱	⑲

中原区住民アンケート

中原区 NSC暮らしの安全対策委員会
2016. 8. 7

※ できるだけ家族の皆さんで相談してご記入してください。

<最初にあなたの世帯の今についておたずねします>

質問1 あなたと家族構成について教えてください。

性別	あなたの年齢	家族構成について
1. 男	1. 65歳以上	1. 一人暮らし
	2. 50～64歳	2. 65歳以上二人暮らし
2. 女	3. 30～49歳	3. 65歳以上の方がいて家族と同居
	4. 29歳以下	4. 1, 2, 3以外の方

<次に、あなたやご家族が感じていることや願いなどを教えてください>

質問2 日常生活の中で困っていること、手助けがほしいなと思うことを教えてください。

↓ 1困っている 2今は良いが今後数年先が心配 3あまり困っていない

内容	困り具合	具体的に困っている内容
(記入例) 通院	1 2 3	みのちゃんバスで通院。病院内での介助をしてほしい
掃除	1 2 3	
買い物	1 2 3	
ゴミ出し	1 2 3	
通院	1 2 3	
雪かき	1 2 3	
話し相手	1 2 3	
洗濯	1 2 3	
食事の準備	1 2 3	
草刈り・草取り	1 2 3	
育児	1 2 3	
入浴	1 2 3	
その他	他に困っていることなど有りましたら、自由にお書きください。	

質問3 日常生活の中で、今は心配ではないが今後必要だと思われることを想像してお書きください。

自由にお書きください。

質問4 日常生活の中で、困ったことをどのように解決しているのか教えてください。

- 1 隣近所に相談。
- 2 知人に相談。
- 3 親戚に相談。
- 4 区長や区役員に相談。
- 5 行政に相談。
- 6 なにもしていない。
- 7 その他

質問5 中原に助けあい・ふれあいの的なことで、こんなことが「有ったら良いな」と思うこと書いてください。 例 お茶飲み会など・・・

質問6 あなたの区内で困っている人がいたら、困りごとの解決に協力できそうな事に○印を付けてください。(いくつも良よい)

掃 除		話 し 相 手	
買 い 物		洗 濯	
ご ん 出 し		食 事 の 準 備	
通 院		草刈り、草取り	
雪 か き		育 児	
入 浴			
その他			